



「Chromebook (クロームブック) の効果的な活用について」

～一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業より：No.5～😊

今年度は、弥生小、あさひ小、千代田小、大森浜小、駒場小、湯川小、桔梗小、北昭和小、北中、榎法華中の10校が、「一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業」のモニター校になっています。第五弾として駒場小学校と千代田小学校の取組をご紹介します。

駒場小学校の取組



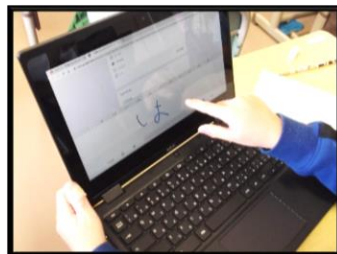
1 自分の端末画面を見せながら発表

授業で教師や児童の端末の画面をテレビの大画面に映し出すことができるChromecast (クロームキャスト) を活用しています。5年生では、社会のデジタル教科書を大画面に映し、自分でマーカーを引いたところを示して発表するのに使っています。教室のどこからでも映し出すことができるので便利です。



2 低学年の手書き文字

端末の画面上に手書きしたものがどの文字か判別してくれる「ユーザー補助機能」があります。この機能を使うとタイピングができなくても文字入力が可能となるので、低学年の端末活用に役立っています。2年生では、手書き文字でその日の授業の振り返りを行っています。



3 ヘッドセットの利用

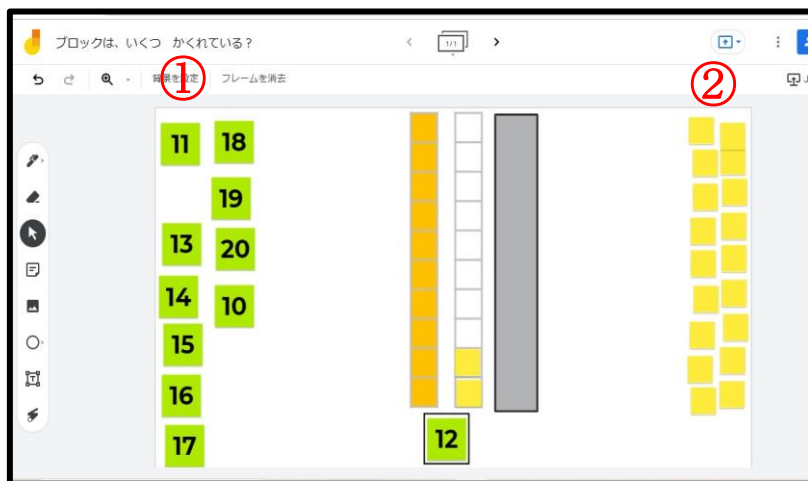
動画視聴やmeetなど、音を聞いたり声を発したりするときには、「ヘッドセット」(マイク付きイヤホン) を付けています。周りの音が気にならず集中できます。



千代田小学校の取組

1 算数の授業での活用

1年生の算数の授業で「10より大きい数」の「数の構成」の学習でjamboardを使いました。jamboardに①数字のカードと②ブロックを、動かせるように作りました。子どもたちは、好きな数のカードを真ん中に移動し、その数のブロックを②の中から選び、マスの中に並べます。そして、グレーの長方形でブロックを1列分、隠し、友達と「何個、隠れている?」「2個」「正解!」と問題を出し合いました。



2 端末と紙を併用して活用

タブレットで自分の朝顔の写真を撮り、担任のタブレットに提出しました。担任は、ドキュメントに貼り付け、観察カードを印刷して児童に渡しました。気づいたことは、手書きで書きました。

